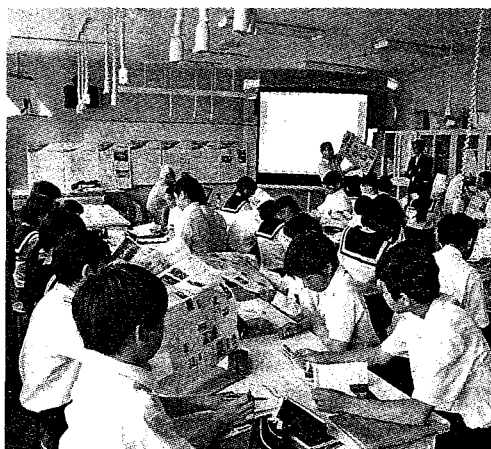


山道の概要や歴史を紹介

増毛山道の会が出前授業

中学生が興味関心深める



今回の出前授業は、七月に予定されている増毛中学校一年生の増毛山道体験トレッキングの前に行われたもの。同会から、小杉忠利事務局長と織田達史監事が講師を務め

小杉測量設計(株)(留萌、小杉忠利社長)など会員と留萌振興局が協力しながら山道の復元を進めたことで、二十二年度までに別荘く岩尾ルート約十六キロが開通している。

授業では、増毛山道の歴史や概要を写真やパンフレットを使い分かりやすく説明。質疑応答も行い、生徒たちに増毛山道の魅力を丁寧に説明した。

【留萌発】NPO法人増毛山道の会(伊達東会長)は二十五日、増毛町立増毛中学校で増毛山道の歴史などに関する出前授業を実施した。写真Ⅱ。同校の一年生約二十人を対象に、山道の概要や歴史を紹介。生徒たちは真剣な表情で授業に臨み、時折メモを取るなどして山道に対する興味関心を深めていた。

増毛山道は、江戸時代に活躍した商人・伊達林右衛門が安政四年(西暦一八五七年)に開通させた、増毛町別荘と石狩市幌を結ぶ延長約二十七キロの交易路。山道の歴史や文化を風化させないため、平成二十年に復元活動などを行う「増毛山道の会」が発足した。